

# 青春の生き方

—— 愛と信の生活をこそ ——

いま、皆さんは、青春の真ただ中にいる。そして、その時代は、再び繰り返すことはできないのである。

盛年 重ねて来たらず

一日 再び あしたなり難し

時に及んで 当に勉励すべし

歲月 人を待たず

申すまでもなく、陶潜のよんだ勸学の詩である。

青春の生き方  
そのいうところは「若いときは努力勉強しなければならぬ、なぜなら、青春時代は二度と来ないし、怠けたからといって歲月は立ちどまって待つてはくれないからである」というほどの意味であらう。



天水キャンパスの全景

しかし、二度と繰り返すことのできないのは、青春時代だけであろうか。幼年や老年の時代は二度繰り返すことができるのであろうか。答は否である。青春時代といわず、人生は二度と繰り返すことはできないのである。もし、人生を、再び繰り返すことができるとすれば、私たちは、過去にかいた恥を打ち消し、犯した罪をかき消して、改めてすばらしい人生を送れるに違いない。だが、それは、はかない願望にしか過ぎないのである。

それにしても、二度と繰り返すことのできない人生にあって、なぜ、青春時代に限って「二度とは繰り返せない」といわれるのであろうか。それは、必ずや、青春時代が、一生を決定する重要な時期だと考えられるからであらう。

ところで、青春時代は、第二の誕生ともいわれるように、自己に目覚め、精神的に自立する時期である。他人の指示によらないで、自分の責任で自分の将来への道を決定する時機である。そのためにも、将来への理想は高く掲げなければならないが、その理想実現のためにどの道を選ぶか、その決断を下すのが青春時代なのである。しかも、その決断が、人生を支配することになるとすれば、この青春時代が、如何に重要であるかが明らかであらう。

また、青春時代は、その人の一生を決定する出会いの時機でもある。師、友人そして恋人等々、この時期に出会う人々は数限りないが、そこに、「愛」と「信」(まこと)による出会いがあれば、その出会いこそが、その人の人生を決定するということにもなるのである。

およそ青春時代に生きる人々にとって、愛は喜びと生きがいを与えてくれる最大のものであらうと思う。それ

は、文学や芸術の作品をみて、愛をテーマにしないものがほとんどないということからも想像できる場所である。なぜであろうか。それは、愛が、人間の魂を根底から揺り動かし、最も強烈に訴えてくるところがあるからである。しかし、愛は、永遠の愛でなければならぬ。瞬間的、衝動的愛は、変化と享楽を求める甘美な生活にはなっても、それは自己欺瞞の生活でしかなく、結局は、深刻な悲哀と絶望をもたらすことになるのである。私たちが求めている愛は、決して、このような悲哀をもたらす瞬間的愛ではなく、永遠の愛であり、未来永劫に裏切られることのない愛なのである。そして、その裏切られることのない永遠の愛は、信という心情に裏打ちされて、はじめて本ものの愛となるのである。

青春時代は、この信に裏打ちされた愛を内にひめた友や師にめぐり会える時機なのである。生涯にわたって変わることはない愛と信の付き合いのできる友や師にめぐり会える時機なのである。とすれば、ここからも、青春時代が、如何に重要であるかが明らかにになったと思う。

皆さんは、いま、二度とはやって来ない青春のこの時期を、比治山女子短大で過ごされている。そして、この比治山での生活が、或いは皆さんの一生を決定するかも知れないということを思うとき、真に内なる自己に目覚めなければならぬと思う。そして、愛と信の生活をするならば、未来永劫にわたっての師友が得られ、本当に生きがいのある人生を送ることができるのではないかと考える。

若い日は二度とない。比治山女子短大での青春を大切に生きて頂きたいと切に願っている。